



祝 全員当選!

— 第20回統一地方選挙 — 鳥取県知事・鳥取県議会議員選挙

■ 第20回統一地方選挙開票結果 ■

※「備考」欄の丸数字は当選回数(2023.4.9選挙後)(敬称略)

鳥取県知事選挙

- 選挙日程 告示日:3月23日(木)
投票日:4月9日(日)
- 選挙結果(投票率 48.85%)

候補者名	得票	備考
当選 平井 伸治(推薦)	200,442	1位⑤
落選 福住 英行	17,822	



平井伸治さん(左)と田中穂会長
(2023.4.11/連合鳥取事務所にて)

鳥取県議会議員選挙

- 選挙日程 告示日:3月31日(金)
投票日:4月9日(日)

- 選挙結果(投票率 49.15%)

選挙区	当選者氏名	得票	備考
鳥取市(定数12)	当選 坂野経三郎(推薦) 立憲民主党	4,738	6位④
	当選 尾崎かおる(推薦) 立憲民主党	4,235	11位④
倉吉市(定数3)	当選 興治 英夫(推薦) 立憲民主党	5,140	2位⑥
米子市(定数9)	当選 浜田 妙子(推薦) 立憲民主党	4,371	6位⑥
	当選 西村みつこ(推薦) 立憲民主党	4,354	7位②
東伯郡(定数3)	当選 伊藤 保(推薦) 立憲民主党	7,267	1位⑦
西伯郡(定数2)	当選 村上泰二郎(推薦) 立憲民主党	6,615	1位①

4月9日(日)投開票で実施された「第20回統一地方選挙」において、組織の総力をあげて支援した連合鳥取推薦候補者(鳥取県知事・県議会議員7人)全員が当選を果たすことができました。心より感謝申し上げます。

序盤から厳しい情勢が伝わる中、構成産別、単組、さらには支部、分会の役員、組合員、OBのみなさん、地域協議会役員のみなさんには、推薦候補者の勝利に向け、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただきました。心より感謝申し上げます。

<鳥取市選挙区>



さかの経三郎さん(前列左から4人目)



尾崎かおるさん(前列左から2人目)

<倉吉市選挙区>



おきはる英夫さん(前列左から2人目)

<米子市選挙区>



浜田妙子さん(前列左から2人目)



西村みつこさん

<東伯郡選挙区>



伊藤たもつさん(左から2人目)

<西伯郡選挙区>



村上たいじろうさん(左から4人目)

“メーデー大会” フォトニュースもご覧ください

2023春季生活闘争【中間まとめ】発表

連合鳥取は、2023春季生活闘争の中間回答集計について、4月21日(金)、県政記者クラブにて報道機関に発表しました。

連合鳥取は、4月20日(木)の春闘闘争委員会において、正規労働者、有期・短時間・派遣等労働者、組織・未組織を問わず、すべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」をめざした取り組みを行うこと、また、経済の自律的成長の実現に向けて、労働組合が果たすべき社会的責任を十分に認識したうえで、「月例賃金の継続的な引き上げ」「人への投資」を徹底して追求することを確認しました。

今後も、構成組織一体となり中小組合の交渉をはじめ、県内すべての労働者の処遇改善を実現するための牽引役を果たしていきます。

連合鳥取2023春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 【2023.4.20現在集計】

※昨年同時期(2022.4.22)と比較

1.賃金要求提出状況

登録組合数	2023春闘：70組合		2022春闘：76組合		◆提出せず	2023春闘	2022春闘	◆人勧準拠	2023春闘	2022春闘	◆組合員の賃金実態把握				
	2023春闘 (2023.4.20)		2022春闘 (2022.4.22)		体系維持分を確認	組合数	7	5	組合数	0	4	把握している	65		
	【賃金関係】調査対象：106組合		【賃金関係】調査対象：109組合			組合員	495	392	組合員	0	293	把握していない	6		
◆提出した	平均方式	個別方式	合計	平均方式	個別方式	合計	◆未提出	2023春闘	2022春闘	◆回答・妥結	2023春闘	2022春闘	◆ストライキ権		
	組合数	51	10	61	56	11	67	組合数	2	0	組合数	55	46	確立している	33
	組合員	8,959	1,941	10,900	7,701	1,910	9,611	組合員	63	0	組合員	10,093	7,275	確立していない	40

2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2023春闘 (2023.4.20)								2022春闘 (2022.4.22)								昨年対比	
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率				
			体系維持分額	賃金改善分額			額	率			体系維持分額	賃金改善分額			額	率		
加重平均	従業員	計	41	6,352	3,577	7,277	10,544	4.22	48	5,220	3,410	3,022	6,856	2.83	3,688	1.39		
	300人以上		14	4,171	3,596	8,139	11,510	4.55	14	3,044	3,621	3,180	7,592	3.16	3,918	1.39		
	299~100人		13	1,609	3,150	5,838	8,384	3.24	14	1,680	3,074	2,688	5,315	2.19	3,069	1.05		
	99人以下		14	572	4,761	4,435	9,370	3.80	20	496	3,759	3,356	7,161	3.04	2,209	0.76		

3. 回答妥結状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2023春闘 (2023.4.20)						2022春闘 (2022.4.22)						昨年対比	
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率
			額	率			額	率			額	率		
加重平均	従業員	計	36	5,703	8,071	3.21	30	3,085	4,335	2.06	3,736	1.15		
	300人以上		14	4,171	8,731	3.42	10	1,910	4,923	2.37	3,808	1.05		
	299~100人		9	1,008	5,999	2.43	8	931	2,983	1.22	3,016	1.21		
	99人以下		13	524	6,754	2.31	12	244	3,895	1.85	2,859	0.46		

【田中穂会長あいさつ要旨】

現時点では、平均賃上げ方式加重平均において、解決組合数、賃上げ額・率ともに昨年同時期を大きく上回っている。急激な物価上昇への対応に加え、人材確保や経済の自律的成長のために「人への投資」が必要であるとの認識が広がっていることが起因していると分析している。

今春闘においては、全国的に賃上げムードが広がっており、その流れが鳥取県にも波及した成果ではあるが、物価水準を考えると十分とは言えない。これから交渉が本格化する中小労組や未組織労働者の賃上げへの波及が大きな課題であり、引き続き連合鳥取が先頭になって取り組んでいきたい。



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

女性を対象とする全国一斉集中労働相談ホットライン

■日時 6月6日(火)・7日(水) 10時00分~19時00分

6月は
男女平等
月間

相談無料 秘密厳守
携帯・スマホからもOK

男性からの相談も
お受けします

フリーダイヤル いこうよ れんごうに
0120-154-052

相談無料
秘密厳守
携帯・スマホOK



あなたのまわりで悩んでいる人に
ご紹介ください

支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！ 笑顔あふれる未来をめざし 力を合わせ、ともに進もう！

—第94回鳥取県メーデー大会に
約3,000人(3会場)参加!—



参加者全員で団結がんばろう！

連合鳥取は、4月29日(土・祝)、鳥取県内3会場で「第94回鳥取県メーデー大会」を開催しました。

各会場とも、時折、小雨や風がある中ではありましたが、予定通り、式典とイベント、デモ行進を行うことができました。

【鳥取県中央大会(中部)／大御堂廃寺跡歴史公園：約1,000人参加】

オープニングセレモニーの打吹童子ばやしと和太鼓LEGEN童による迫力ある演奏の後、早速、式典を行いました。

式典終了後、構成組織から賞品提供いただいた「お楽しみ抽選会」を行い、続く「デモ行進」では、「物価に負けない賃金に引き上げろ！」などのシュプレヒコールを行い、道行く市民にアピールしました。

<式典>

田中穂実行委員長の主催者あいさつに続き、来賓(16人)を代表して、鳥取県 平井伸治知事、鳥取労働局 平川雅浩局長、倉吉市 広田一恭市長、そして立憲民主党鳥取県総支部連合会代表代行 興治英夫県議会議員からごあいさつをいただきました。

メーデースローガン確認、メーデー宣言の採択の後、田中実行委員長の音頭による「団結がんばろう！」を行いました。

また、「プラカードコンクール」には5単組からメッセージを込めた作品が提出され、「フード連合大山乳業労組」のプラカードが見事、最優秀賞に輝きました。

【東部地域大会／千代川緑地市民スポーツ広場：約800人参加】

【西部地域大会／とっとり花回廊：約1,200人参加】

※東部・西部地域大会については、
「フォトニュース」でご紹介します。

報告と お礼

●「ワークルールクイズ」に529人(全会場)の応募がありました。

●「トルコ・シリア地震救援カンパ(全会場で12,557円)」、「フードドライブ」、「エコキャップ回収」、そして「メーデー献血」にご協力ありがとうございました！

「依存症は回復できる」ことを知っていますか？ —「第2回執行委員研修会」を開催—

4月20日(木)、第5回執行委員会終了後、福間裕隆鳥取県議会議員と配偶者の幸子さんを講師に招き、「第2回執行委員研修会」を開催しました。

【講演】—今日を生きる—

福間さんは20代のころアルコール依存症になり、10年以上苦しんだ経験を赤裸々にお話しされました。

幸子さんは、連れ添った立場から、アルコールに翻弄されている福間さんがどのような行動をしたか、家族でどう支えたかなど具体的に語られました。「なぜ、幸子さんは福間さんと別れなかったのか?」という質問には、「子どものためということもあったが、別れても生活していく力がなかったことも事実」と、今と違う時代背景も大きく影響していたと話されました。

<講演より抜粋>

- ・「断酒会」に入って、「今日一日だけは酒をやめよう。一日我慢できないなら、今だけは我慢しよう」と、断酒会の仲間と月に3~4回の例会でそれぞれの体験を聞きながら一緒にがんばり、一年後に「酒をやめることができて自分」に気づいた。
- ・しかし、「断酒の上になり立っている平和な生活」「断酒会は命綱、最後の砦」と考え、「断酒会」の活動にのめり込み、家を空けることが増え、子ども達に負担を強いていたこと、子ども達を傷つけていることに気づけなかったと反省した。
- ・そして、「私と私の家族のように困っている人に伝えていく」ことが役目だと思う。
- ・「今日一日があって、酒をやめて生きていられる」「今日一日を大切に力いっぱい生きる」「心に断酒の鍵をかけ、今日一日を大切に」を心がけて生活している。

<お願い>

- ・アルコール依存症は適切なサポートを受ければ、回復可能な病気です。
- ・アルコール依存症からの回復は「断酒」しかありません。
- ・身近に悩んでいるご本人、ご家族がいらしたら、ぜひ市町村役場(保健師)に相談することを勧めてください。病院での治療や「断酒会」などにつながるすることができます。



